

No.18

31 January, 2008

日本・パプアニューギニア協会会報

ごらくちよう

Bird of Paradise

発行 NPO法人日本・パプアニューギニア協会

発行日 平成20年1月31日

編集 NPO法人日本・パプアニューギニア協会広報部 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6F(ニューギニア航空日本支社内) TEL 03-5216-3555 FAX 03-5216-3556

新年のご挨拶

2008年の抱負

NPO法人 日本・パプアニューギニア協会
副会長 鈴木 紀久代



皆様、明けましておめでとうございます。どんなお正月をお過ごしだったでしょうか。

私は、テレビを見ながら家でゴロゴロの寝正月を決め込み、家でゆっくり過ごしたのですが、お正月早々、地球温暖化に伴い海面上昇のため家や土地をなくすPNGの人々やエイズにかかった子供達への支援活動が紹介されるなど、PNGの話題が目飛び込んできました。私達が快適な家の中で、ご馳走三味のお正月を過ごしている時も、パプアの友達は皆、電気もガスも水道もない中でいつもの生活をしているのだらうなあと、改めて思い出しました。

また、昨年末にPNGを良く知る方々数名とお話をする機会があったのですが、その折にも、今年こそは、パプアの人々のために、そして日本・パプアニューギニア協会の会員のために当協会を「どぎゃんとせんといかん」と思ったしだいです。副会長を任命されながらも、東京から離れて暮らすため、特に協会のための活動もでき

ないままに時間だけ経ってしまいましたが、今年は、もう少し積極的に活動をしていきたいと思っています。

まずは、分科会。PNGに関する広報活動、協会の広報活動、協会員の交流会やPNGへの旅行の企画など、グループに分かれていろいろ知恵を出し合える工夫をしましょう。私以上にPNGについて深くかかわって知識や経験の豊富な方を会員の中から発掘(たくさんいらっしゃると思います)しましょう。大勢の全体会では話しにくいことも少人数に分かれたらもっと話しやすいと思います。雑談の中からすばらしいアイデアが生まれるかもしれません。私もできる限り上京して、会員の方ともっとお話したいと思っています。よろしくご協力ください。

ついでに、私が現在代表を務める新潟PNG協会では、学資支援サポーターを広く募集しております。こちらも、よろしくお願ひいたします。

ライモ教育大臣の訪日

～25年ぶりの大好き日本～

山下 勝男(当協会会長)

昨年11月1日、外務省の招待で訪日中のマイケル・ライモ教育大臣を、日本・パプアニューギニア協会の代表としてパレスホテルに招待し、親しく懇談、夕食をご一緒する機会に恵まれました。

皆様、ご存知の方も多いと思いますが、ライモ大臣は日本語を話し、日本と日本人を良く理解し、大の親日家として知られるパプアニューギニアの政治指導者の一人です。私も3年たらずでしたが、大使在任中には最初から最後まで公的にも私的にも同大臣より温かいご協力、ご支援をいただき、大いに助けられました。ライモ氏の損得抜きのご親切な姿勢に助けられ、感激した日本人は私一人ではないと思います。同氏所管の教育分野は勿論のこと、出身地であるブーゲンビル島への旅行のこと、遺骨収集に関連すること等々について、非常に多くの日本人がお世話になっています。日本とパプアニューギニアとの友好関係の維持促進にとって、かけがえのない人物であり、二国間の交流にとって宝だと思います。

では、どうしてライモ氏がこのように親日的になったのでしょうか？その背景には、日本人との長く、深い交流の歴史があったのです。宝は一朝一夕に手に入るものではないのです。

私は以前、親日家ソマレ首相に大なる影響を与えた二人の日本人についてお話をしたことがあります。ライモ氏に影響を与えた日本人は、全国ソロモン会の人達に他なりません。かつて激戦地であったブーゲンビル島での遺骨収集、または慰霊巡拝活動を通じ、同地出身のライモ氏と知り合いとなり、全国ソロモン会の有志の人達が募金活動により集めたお金を資金として、ライモ氏を日本に招待し留学の機会を与えたのは実に25年前に遡るそうです。途中ブーゲンビル紛争の影響で交流が一時途絶えたことも



左から ウィアル参事官、ライモ大臣、山下会長

あったようですが、幸いにも7、8年前より交流が復活し、以来絶え間なく緊密な関係が続いていることは喜ばしい限りです。

ライモ氏の今回の訪日は、実に25年ぶりだったそうです。私は在勤中に、同氏が留学経験のあることは知っていましたが、その後たびたび訪日機会はあったのだろうと勝手に思っていました。このようなことならもっと早く、在勤中に訪日招待して差し上げれば良かったのに、と今になって後悔しております。

この懇談の際、ライモ氏は、全国ソロモン会には25年以来大変お世話になっていること、上智大学への留学で貴重な体験をさせていただいたこと、再び来日の機会を得られて嬉しかったこと等を懐かしそうに、かつ、感謝をこめて話してくれたことが印象的でした。

国と国の関係を友好的に継続、発展させるためには、物と物の交流、金と金の交流と同時に、あるいはそれ以上に、人と人との交流が如何に大切であるか。その実例として紹介したかった次第です。この場を借りて、両国間の交流に貢献してこられた(勿論当協会のメンバーでもあられる)全国ソロモン会の安田藤一郎会長、菊本享事務局長をはじめ、同会のメンバーの皆様にも心より感謝申し上げますとともに、我が協会としても両国間の友好促進のために、引き続きさらなる努力を行いたいと気持ちを引き締めている次第であります。



全国ソロモン会の皆様

写真提供:パレスホテル

マイケル・マウエ大使 講演会を開催しました

東京国際大学

国際関係学部専任講師

杉本 篤史(当協会会員)

昨年11月14日にマウエ駐日大使を東京国際大学第2キャンパスにお招きし、「協力と相互利益をめざして」というテーマで講演をして頂きました。これは本学国際関係学部が実施している「国際教育プログラム:フィールドスタディ(国連・モンゴル・パプアニューギニア)」の事後学習の一環として開催されたものです。本学では一昨年5月にもソマレ首相をお招きし名誉博士号授与と式とともに特別講演をして頂きましたが、首相に続いて今回は同国の全権大使による講演会が実現しました。大使にはご多忙の中わざわざ川越までお運び頂き、また山下会長をはじめ当協会会員の皆様にもご多忙にもかかわらず多数お越し頂きました。



講演会の様子



懇親会パーティーで大使と緊張しながらも歓談する本学学生

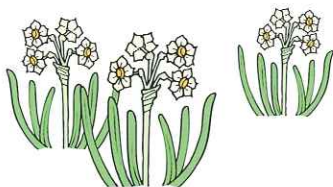
長年ヨーロッパを中心に外交官として第一線で活躍されてきた大使のお話は、日本とパプアニューギニアの関係を中心に国際協力とはどのようなものであるべきかについて大変興味深く示唆に富んだ内容でした。講演会終了後には本学の荒井学長から大使へ川越の祭山車の模型が、大使から学長へは感謝状と盾の民芸品が、それぞれ記念品として贈呈されました。

前後しますが大使の講演に先立って前座として9月にパプアニューギニアでのフィールドスタディに参加した学生代表6名が、15分ほどですが活動報告をさせていただきました。準備に十分な時間がなかった割には及第点(少なくとも大使を失望させない程度)はあげられるのではないかと、手前味噌ではありますが引率指導者としては思っています。学生たちも講演会後に催された懇親パーティの席で、大使をはじめ多くの協会の方々にお褒め頂き、さらなる活動への意欲と目標を見出したようです。なお本講演会がきっかけとなり、学生たちの間でパプアニューギニアの経験を共有しながら、それを



次世代に繋いでいくサークル団体「ハママス」が発足しました。

今回の講演会は大使のみならず当協会の皆様のご支援がなければこのように盛大な、そして意義深いものとはなりえなかったでしょう。紙面をお借りしてあらためて御礼申し上げます。



SERIES

PNG最高峰

ウィルヘルム山登頂記 ④

賀部 祥平(当協会会員)



賀部 祥平(かべ しょうへい)
当協会会員。2005年1月にパプアニューギニア最高峰の「マウントウィルヘルム」へ登頂。2005年11月発行の「パプアニューギニア ソロモン諸島 トラベルガイド」の取材及び撮影の為にパプアニューギニアを訪れ、その後もパプアニューギニア各地を旅する。
2005年11月22日にラバウルで開催された「南太平洋盆踊り大花火大会 2005」では、大会実行委員の一員として参加。

そうこうしているうちに、また新しい岩峰が目の前に現れました。すると今度は、マイケルが私にほほ笑みかけ一言、「マウントウィルヘルム」。

あまりにも突然姿を現したウィルヘルム山に私は驚きました。その姿は今まで通り過ぎてきた岩峰とは迫力がまるで違っていたのです。山頂が見えたことで俄然やる気が出てきました。山頂へ行くには岩場をよじ登る必要があります。気を抜けば滑落し大怪我をするのは間違いないでしょう。すでに先頭の数名が山頂で歓声を上げているのが聞こえます。その声を聞いてか私も思わずほほ笑んでしまいました。あと少し。あと少し……。

「来たぞー！」

360度の大パノラマ。標高4,509m、パプアニューギニア最高峰、ウィルヘルム山の山頂です。目を閉じ大きく深呼吸をします。風の音以外何も聞こえません。この壮大な眺めは地球上の景色とは思えません。この感覚は実際に頂上に立った時にしか味わえないのでしょうか。頑張った

ピュンデ湖ロッジから山頂へ ②

標高4,000mは超えたでしょうか。さすがに酸素が薄いことは呼吸の乱れで感じます。気温は9℃。さすがに寒くなってきました。ディスカウントショップで買った長靴で足場の悪い岩場をもう5時間以上も歩きっぱなしです。両足の全てが靴擦れを起こしています。長靴で4,509mの山に登ることが間違いだったことに私は気がつきました。

「あそこまで行ったら休もう」と自分を騙し騙し進んで行きます。しかし、未だにウィルヘルム山の山頂を視認することは出来ません。ゴールの見えない戦いのようです。新しい岩峰が見える度に、マイケルに「ウィルヘルム山か？」と聞くと、「ノー」と答える。そんなやり取りをもう7回も交わしているのです。



4,509mの山頂 皆んない顔をしています

者だけが体験できる快感なのだと思います。

これだけ大変な思いをして登ったウィルヘルム山。帰国後にまた登りたいと思えるのがこの山の、そしてパプアニューギニアの魅力ではないのでしょうか。



山頂付近にて

日本・パプアニューギニア協会
法人会員紹介 第11回

「みなさん、こんにちは。」
「株式会社 パプアニューギニア海産です。」

〒856-0202 宮城県石巻市
魚町2丁目8番地の11
TEL0225-21-8202
FAX0225-21-8203

皆さん、こんにちは。

株式会社パプアニューギニア海産と申します。名前のとおりパプアニューギニアの水産物を取り扱っています。主たる取り扱い品目は、天然エビです。ほぼ100%です。PNG現地には、エビトロール船を所有する2名のパートナーがいます。私達が技術者を派遣し、操業全般、品質管理、マーケティング等の指導を続けています。おかげさまで、今では信頼できる商品として認知されるまでに育ってきました。色々な出来事がありました。もうかれこれ22年になります。

最初の頃から一緒に働いてくれている人も何人かいます。18歳の頃に村から出てきて職に就いた彼が、今では40歳となり、家庭を持ち、その子供



達も元気に育っています。豊富な資金などとは縁のない私達ですが、世の中の荒波にもまれながらもここまでやってまいりましたし、現地にも次の時代を担っていく若者達が育ってきています。私達は、毎年2名の実習生を日本の工場(宮城県石巻市)に呼び寄せ、下宿生活をしながらの5~6週間の加工実習の体験をしてもらっています。すでに7名が来日し、その貴重な体験を持ち帰り、PNGの現場で現地の仲間達に伝えてくれています。

最初は、中央卸売市場流通専門で一般の人が手に入れるチャンスは殆どありませんでした。養殖エビの大氾濫で天然エビマーケットの存続がとて



も危うくなってきたこともあり、ここはひとつ、本当に安全で新鮮で美味しいパプアニューギニアの天然エビを、もっともって一般の人にも食べてもらわなければいけない、という気持ちで、独自の流通形態の開拓を目指しました。15年前です。時間はかなりかかりましたが、日本国内では一般の消費者の方々はもとより、レストラン、スーパー、学校給食、生協、自然食関連の方々などに広く流通しています。電話一本で誰でも買うことが出来ますし、贈り物としても重宝して頂いています。

皆さん、パプアニューギニアにはこんなに美味しいエビがあるんだということを、どうか周りの人に教えてあげてください。パプアニューギニアの天然エビ資源、日本の健全な天然エビマーケット、それぞれを次の世代である私達の子供たちにも有効活用してもらいたいと思います。宜しくお願い致します。

事務局からのお知らせ

PNG蔵書棚

当協会会員でいらっしやいました故後藤友作様からの寄付で、ニューギニア航空内にPNGに関する本(約500冊)を集めた棚ができました。

戦記が多いのですが、ガイドブックなどもあります。ぜひお立ち寄りください。



写真提供：
ニューギニア航空
小泉 義元氏

名簿改定

当協会名簿を改定します。住所等に変更がある方は事務局までご連絡ください。

定款一部改定

皆様が入会された時にお渡ししている定款の一部が以下のように改定されました。差し替えをお願いします。

定款3ページ、第3章 役員等(役員)第13条2「2人以内を副会長とする」を「1人以上3人以内を副会長とする」に改定。

西山肇大使 PNGへ

西山肇 新駐PNG日本大使の壮行会が執り行われました。次号にてご紹介致します。

「こころの写真展」開催!

酒光幸子様(当協会会員)が「こころの写真展」をひらきます。ぜひ、お立ち寄りください。

*4月1日~4月14日 福井県平和祈念館

(福井県鯖江市)

*5月20日~5月22日 エステック情報ビル

クリスタルスポット(東京新宿)

編集後記

今年に入り、体調を崩してしまいました。ごらくちよりの発行が大幅に遅れてしまい深くお詫び申し上げます。これからは体調に十分留意し、みなさまにご迷惑をおかけしないよう努力してまいりますので、今後ともどうか宜しくお願い申し上げます。

(佐藤直子)

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。
*会員数 2007年12月末 法人会員/18 個人会員/84

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的として、文化、学術、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

申し込み方法 / 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。
年会費 / 個人会員 5,000円 法人会員 50,000円 PNG人 1,000円
会費受付 / 郵便振替口座をご利用ください。

加入者名 / 番号 00140-2-277582
問合せ先 / 日本・パプアニューギニア協会
日本・パプアニューギニア協会 事務局
〒102-0074

東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館6階
(ニューギニア航空 日本支社内)
電話:03-5216-3555 FAX:03-5216-3556
E-mail:info@air-niugini.co.jp